

桐生繊維業界の実態

平成24年1月～12月

桐生市繊維振興協会

桐生繊維業界の概要

※ 桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に、平成24年1月～12月までの業界実態を調査し、作成しました。（なお、桐生商工会議所 繊維部会、桐生織伝統工芸士会、有限責任事業組合 起龍については、組合員重複により調査対象とせず。）

また、加盟団体の退会等により調査対象に変更が生じる為、前年対比は参考数字とさせて頂く事を予めご了承下さい。

1. 調査対象団体数	12 団体	
2. 産地収入		
(1) 生産高	145 億 2,235 万円	
(2) 加工高	12 億 8,188 万円	
(3) 販売高	79 億 3,554 万円	
計	237 億 3,977 万円	
退会団体の収入（推定：前年対比100%）	20 億 1,947 万円	
計	257 億 5,924 万円	（前年対比 100%）
3. 組合員数（事業所数）	270 事業所	
4. 総従業員数（家族従業員含む）	2,078 人	
5. 一事業所当たり従業員数	8 人	
6. 一事業所当たり生産加工販売高	8,793 万円	
7. 年度別産地収入高		
平成 5年 産地収入	893 億 2,611 万円	（前年対比 89%）
平成 6年 産地収入	845 億 3,438 万円	（前年対比 95%）
平成 7年 産地収入	733 億 6,672 万円	（前年対比 87%）
平成 8年 産地収入	678 億 3,478 万円	（前年対比 92%）
平成 9年 産地収入	616 億 9,017 万円	（前年対比 91%）
平成10年 産地収入	528 億 4,669 万円	（前年対比 86%）
平成11年 産地収入	473 億 6,503 万円	（前年対比 90%）
平成12年 産地収入	444 億 7,222 万円	（前年対比 94%）
平成13年 産地収入	416 億 8,724 万円	（前年対比 94%）
平成14年 産地収入	376 億 2,047 万円	（前年対比 90%）
平成15年 産地収入	346 億 0,005 万円	（前年対比 92%）
平成16年 産地収入	453 億 8,571 万円	（前年対比131%）
平成17年 産地収入	436 億 5,236 万円	（前年対比 96%）
平成18年 産地収入	397 億 4,442 万円	（前年対比 91%）
平成19年 産地収入	375 億 4,078 万円	（前年対比 94%）
平成20年 産地収入	318 億 2,356 万円	（前年対比 85%）
平成21年 産地収入	287 億 2,461 万円	（前年対比 90%）
平成22年 産地収入	257 億 4,424 万円	（前年対比 90%）
平成23年 産地収入	258 億 0,221 万円	（前年対比100%）

1. 組合員数及び従業員数

団体名		組合員数 (事業所数)	従業員数				計 (人)	従業員 平均年齢 (歳)
			雇用従業員 (人)		家族従業員 (人)			
			男性	女性	男性	女性		
桐生織物協同組合	広幅協議会	60	186	229	55	74	544	54
	内地協議会	63	159	285	53	61	558	58
桐生染色組合		12	37	16	5	5	63	60
桐生繊維製品協同組合		21	113	191	18	16	338	46
桐生織物産地元売組合		4	7	4	1	2	14	53
桐生糸商組合		9	20	8	9	9	46	48
桐生刺繍商工業協同組合		47	72	108	64	65	309	62
東日本編レース工業組合		8	18	10	17	11	56	48
桐生意匠組合		10	1	1	3	7	12	57
桐生紋紙組合		10	5	0	5	4	14	63
東毛ジャカード刺繍協同組合		9	9	14	9	9	41	49
桐生織物商友会		11	9	8	4	8	29	59
桐生テキスタイル商業グループ		6	30	19	4	1	54	47
合計		270	666	893	247	272	2,078	

注

- (1) 平成 7年 1月13日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。
- (2) 平成 7年 5月17日 桐生織伝統工芸士会 入会。
- (3) 平成10年 3月31日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 桐生織物商業組合 解散し退会。
- (4) 平成10年 4月 1日 桐生和服裁縫組合 入会。
- (5) 平成11年 3月31日 桐生金銀糸協同組合 解散し退会。
- (6) 平成12年 3月31日 桐生撚糸工業組合 解散し退会。
- (7) 平成13年 3月31日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。
- (8) 平成18年11月28日 有限責任事業組合 起龍 入会。
- (9) 平成21年 3月31日 桐生和服裁縫組合 退会。

2. 生産、加工高及び取引先区分（工業部門）

団体名		生産高 (万円)	加工高 (万円)	計 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
						県内	県外
桐生織物協同組合	広幅協議会	371,267	20,699	391,966	96	0	100
	内地協議会	149,763	-	149,763	88	0	100
桐生染色組合		-	48,000	48,000	102	55	45
桐生繊維製品協同組合		785,462	25,322	810,784	97	18	82
桐生刺繍商工業協同組合		31,200	32,780	63,980	94	70	30
東日本編レース工業組合		85,000	-	85,000	99	5	95
桐生意匠組合		4,500	-	4,500	87	90	10
桐生紋紙組合		4,000	-	4,000	100	85	15
東毛ジャカード刺繍協同組合		21,043	1,387	22,430	91	2	98
合 計		1,452,235	128,188	1,580,423	96	15	85

3. 販売高及び取引先区分（商業部門）

団体名		販売高 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
				県内	県外
桐生織物産地元売組合		49,000	86	15	85
桐生系商組合		490,000	98	70	30
桐生織物商友会		70,000	97	10	90
桐生テキスタイル商業グループ		184,554	95	1	99
合 計		793,554	96	45	56

4. 内需向、輸出向区分

団体名		内需向		輸出向		計 (万円)
		金額 (万円)	割合 (%)	金額 (万円)	割合 (%)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	343,066	88	48,900	12	391,966
	内地協議会	149,763	100	-	-	149,763
桐生染色組合		48,000	100	-	-	48,000
桐生繊維製品協同組合		810,784	100	-	-	810,784
桐生織物産地元売組合		49,000	100	-	-	49,000
桐生糸商組合		450,000	92	40,000	8	490,000
桐生刺繍商工業協同組合		63,980	100	-	-	63,980
東日本編レース工業組合		80,700	95	4,200	5	84,900
桐生意匠組合		4,500	100	-	-	4,500
桐生紋紙組合		4,000	100	-	-	4,000
東毛ジャカード刺繍協同組合		22,430	100	-	-	22,430
桐生織物商友会		70,000	100	-	-	70,000
桐生テキスタイル商業グループ		166,099	90	18,455	10	184,554
合計		2,262,322	95	111,555	5	2,373,877

5. 各団体の取扱品目

団体名		品 目				
		割 合 (%)				
桐生織物協同組合	広幅協議会	服地	インテリア・ 資材	ネクタイ	その他	
		65	19	11	5	
	内地協議会	帯地	広幅生地	服飾品	着尺	
		58	20	16	6	
桐生染色組合		合織	レーヨン・アセテート・ キュプラ	絹	綿・ウール	
		80	10	5	5	
桐生繊維製品協同組合		ブラウス	ニット・ カットソー	ワンピース	スカート	その他
		23	23	10	1	43

団体名	品 目				
	割 合 (%)				
桐生織物産地元売組合	帯地	二次製品	服飾工芸	着尺	その他
	50	20	10	5	15
桐生糸商組合	ポリエステル	アクリル・NY	絹糸	綿糸	
	55	25	7	13	
桐生刺繍商工業協同組合	婚礼衣裳	婚礼加工	ブラウス・ニット加工	ハンカチーフ加工	雑貨
	20	20	15	15	30
東日本編レース工業組合	インテリア	衣料	資材		
	70	10	20		
桐生意匠組合	洋反	インテリア	帯地	金襴	
	80	5	10	5	
桐生紋紙組合	エンドレス ペーパー	フロッピー	紋紙		
	35	45	20		
東毛ジャカード刺繍協同組合	ワッペン	Tシャツ	ワッペン・イント刺繍	プリント加工	その他の布帛
	45	25	11	11	8
桐生織物商友会	二次製品	和装小物	帯	着尺	その他
	40	25	25	1	9
桐生テキスタイル商業グループ	服地	ニット関係	その他		
	60	39	1		

6. 生産加工部門の現有設備状況

団体名		設備名	数量(台)
桐生織物協同組合	広幅協議会	普通織機	702
		自動織機(片レピア含)	234
		超自動織機(レピア)	408
		計	1,344
	内地協議会	広幅織機	67
		並幅織機	709
		小幅織機	128
		自動・レピア織機	206
		計	1,110
桐生染色組合	常圧噴射式染色機	60	
	高圧噴射式染色機	14	
	汎用染色機	10	
	チーズ染色機	30	
	計	114	
桐生繊維製品協同組合	ミシン(特殊含)	250	
	プレス	28	
	裁断機	11	
	その他	86	
	計	375	
桐生刺繍商工業協同組合	横振ミシン	45	
	多頭式ミシン	350	
	計	395	
東日本編レース工業組合	ジャカード落下板付きラッセル機	18	
	ジャカード落下板付きコンピューター機	7	
	チェーンラッセル機	42	
	チェーンラッセルコンピューター機	8	
	計	75	
桐生意匠組合	デザインシステム	21	
	コピー機	7	
	計	28	
桐生紋紙組合	デザインシステム	19	
	横彫カット・エンドレス	13	
	カードパンチ	10	
	ワンパンチ	3	
	計	45	
東毛ジャカード刺繍協同組合	コンピューターミシン	24	
	プレス	5	
	本縫いミシン及びその他の機械	25	
	パンチング製版機及びプリント機	7	
	計	61	

7. 最近の推移（H24年10月～H25年2月）

団体名		受注・引合の状況				販売（加工）単価の状況			
		増	変わらず	下降	前年対比 （%）	増	変わらず	下降	前年対比 （%）
桐生織物協同組合	広幅協議会			○	96		○		100
	内地協議会			○	88		○		100
桐生染色組合			○		100		○		100
桐生繊維製品協同組合			○		100		○		100
桐生織物産地元売組合			○		100		○		100
桐生糸商組合			○		100	○			104
桐生刺繍商工業協同組合				○	94			○	94
東日本編レース工業組合				○	95			○	95
桐生意匠組合				○	80			○	90
桐生紋紙組合			○		100		○		100
東毛ジャカード刺繍協同組合				○	90		○		100
桐生織物商友会				○	95			○	95
桐生テキスタイル商業グループ				○	95		○		100
合計		0	5	8		1	8	4	

8. 商品 消費者ニーズの変化について、平成24年(1月～12月)の状況、事業概要、今後の課題

桐生織物協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・先の見えない景気低迷のなか、産地商品に対する消費は依然として低迷している。輸出においては、欧州経済や日中関係の悪化など、不安定な情勢が危惧される。一方、高級品や目新しい変り織物などに対する関心は高まっている。
- ・和装部門においては、震災以降鈍化していた夏物のゆかた関連商品が多少動き出した。また、依然として今までの市場にない製品が求められ、他にない独創的な製品のみ求める傾向にある。

平成24年の状況、事業概要

- ・国内事業として、東京青山にて10月に桐生テキスタイルコレクション2013A/Wを開催。また、JFWジャパンクリエーションへの出展をした。輸出向けとしては、9月にパリで開催されたテックスワールドパリに出展。
- ・和装部門においては、流通の弱体がより加速し、産地製品を全国に発信する機会がさらに不足するため、集散地である東京、京都における展示会の開催を積極的に実施した。また、市場が求める新しい製品の提供のため、新製品開発事業に取り組むなど、需要の喚起と販路の開拓を組合事業の柱として、和装振興のため多くの事業をおこなった。

今後の課題

- ・多品種少量生産の特色を生かし、まだ市場に無い、変り織物、より一層の高付加価値商品の開発が必要となる。
- ・和装部門においては、消費者を刺激する魅力ある製品の開発、信頼の持てる新たな販路の開拓、地域団体商標「桐生織」を活用したブランド力の向上などが求められている。また、技術後継の問題や製造機器の欠損部品の補充方法など、今後の課題は多く、特に欠損部品の対応は他産地との連携が急務となっている。

桐生染色組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・織物の市況は相変わらず悪い。
- ・東北地方震災特需でカーテンは好況であった。環境及び健康面に配慮した遮光カーテン、病院用カーテンは堅調である。

平成24年の状況、事業概要

- ・相変わらず先行は不透明であるが、各種展示会等を通じて桐生の織物が見直されている。明るい材料である。微増だが期待は大きい。

今後の課題

- ・各社共、加工での3本の柱は重要である。時代に対応するため染色加工仕上げでも常に柔軟な体制作りを構築していかなければならない。

桐生繊維製品協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・全体的には消費低迷のあおりから、生産高・加工高、数量は減少している。しかし、依然高級志向、オンリーワン商品の需要は高く、メイドインジャパン製品のニーズも高い。また、最近の円安の影響からか、受注、問い合わせが増えている。

平成24年の状況、事業概要

- ・一言で言うと、非常に厳しい一年だった。中国実習生を受け入れている企業先では、中国経済の発展のあおり等もあり、希望する人材確保が難しく受け入れ人数が減少している。それに代わる人材確保も賃金、職種の問題もあり思うようにできていない状況。

今後の課題

- ・原材料、人件費がアップするなか、いかに利益を確保していくかが課題。中小企業ではなかなか難しいブランディング事業を積極的に進め、高付加価値、差別化できる商品を作り上げていかななくてはならない。そのためには、組合でも組合でしかできない地域性を活かしたブランディング事業などを推進し、円安を追い風に、衰退してしまった輸出などの可能性を探っていきたい。

桐生織物産地元売組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・結婚式、葬式等の着物の需要が減少している。成人式、七五三等は着物を着る人がまだ多くいるが、貸衣装で済ませることが多くなった。

平成24年の状況、事業概要

- ・政権交代後の円安により一部輸出産業は好況である一方、中国を始めとする外国製品の輸入がコスト高になったが、販売単価は上げられず、採算のとれない商売が多くなっている。

今後の課題

- ・着物を着て行ける場所を多くつくらないと着物は売れない。結婚式や葬式等にも着物を着用する運動が必要。

桐生糸商組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・機能的な商品が主体的に動いている。服地、インテリア、下着等国内で売れている商品は何らかの機能を付けている物が多い。

平成24年の状況、事業概要

- ・ポリエステル製造メーカー大手は、平成24年の経済環境の厳しさに対応するため、変化している。海外工場への移行を始め、体制を大きく変えようとしている。それに即応して事業展開していく必要があるが、なかなか難しいのが現状。

今後の課題

- ・各テキスタイルメーカーへの提案型販売も必要となって来ると思う。

桐生刺繍商工業協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ニーズの多様化による小ロット生産が主体となっている。

平成24年の状況、事業概要

- ・東日本大震災の影響はまだ企業に響いている状況。
- ・制約に伴うコスト増等、材料等の値上がりも問題となっている。

今後の課題

- ・技術者の高齢による人材の確保は相変わらず難しい状況。少なくとも若者も取り組んできている企業もあるなか、チャレンジし続け、個々の企業の技術、得意分野を磨き続けることにより、桐生刺繍の良さをアピールしてゆくこと。

東日本編レース工業組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・住宅販売の影響により左右されるカーテンレース業界では、昨年と比較してマンションの在庫等が増え、全体として販売が鈍い感があったが、政権交代により、金利が上がるのではないかとのことから販売が伸びている様子である。こうしたことから、当業界へのカーテンレースの受注はこれからと考えられる。

平成24年の状況、事業概要

- ・インテリア関係は全般的に不振であり、販売では「ニトリ」の一人勝ちである。海外生産による安価な商品より、国内生産品のカーテンレースが良くなっている様子があることから今後に期待する。なお、我々業界機業は、今後良くなる見込みはあまりない様子でもある。

今後の課題

- ・政策金融などの実施により円安が進み、原料高の製品安となる見通しである。業界では、新規格の他社にない製品でグローバルに販売できることが願いである。今後は関係者が一丸となり、商品をバラエティ化し「桐生ブランド」を確立するなど、業界で新商品を作り出す強化が必要な方策と考える。

桐生織物商友会

商品 消費者ニーズの変化について

- ・消費者のニーズは、より快適でより機能性のある商品が求められている。例えば、防災、防汚、撥水、蓄熱、UVカットなどの機能が1つの商品で複数ある商品が求められている。

平成24年の状況、事業概要

- ・平成23年度においては、震災の影響による特化された商品が良く売れたが、平成24年度においては、その勢いは収まった感がある。但し、消費者のニーズに合った、より機能性が高く、品質の良い商品においては販売増加傾向にある。

今後の課題

- ・消費者のニーズは多様化しているため、そのニーズにあった機能性、デザイン性の開発力を高める必要がある。

桐生テキスタイル商業グループ

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 50年代のリメイク、OLDサンプルの焼き直しが増え、インポート素材のリプロダクトは減少した。
- ・ 桐生産地には、相変わらず高品質が求められる。
- ・ アパレルの売れ筋追求中心の商品企画のため、ニーズが画一化されてきており、反対に商品企画数はマーク数が多くなって販売の核になる商品が無くなってきている。
- ・ 若者向けカジュアル商品が中心になってきているため販売単価が下落してきている。

平成24年の状況、事業概要

- ・ 現在は沈静化したが見、尖閣諸島問題が発端となった日本企業をターゲットにした暴動の影響が残っており、カントリーリスクの増大が問題となっている。
- ・ 中国からの輸入は通関時間が未だにかかり、糸などの原料がスムーズに入っていないため、納期に影響が出てきている。この状況を解消するために中国以外の生産基地の模索を始める企業が増え、一時期減っていた韓国が生産基地として再度クローズアップされはじめている。

今後の課題

- ・ 円安に伴う輸入資材の高騰が進み、糸などの原料に対する影響や製品輸入の価格決定時より円安が進行したことによる赤字の発生が始まっており、為替レートも十分にヘッジすることができないため、低いレートで見積もらざるを得ない。加えて、デフレの影響が残り為替差損を販売価格に転嫁できないため利益を圧迫している。
- ・ デフレ政策は、食品などは敏感に反応するが、繊維製品への波及は時間が掛かるため逆に利益圧迫要因となっていることなどもあって、これらに対する迅速な対応が今後の課題となっている。

以 上

桐生市繊維振興協会 加盟団体名簿

(順不同)

団体名	代表者名	所在地	電話 (0277)
桐生織物協同組合	後藤 隆造	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生染色組合	伊藤 久夫	桐生市相生町2-620 (株)アート内	54-5178
桐生商工会議所 繊維部会	木村 俊一	桐生市錦町3-1-15	45-1201
桐生繊維製品協同組合	岡部 利明	桐生市永楽町6-6	46-8118
桐生織物産地元売組合	木村 俊一	桐生市相生町2-230-1 (株)小野木商店内	53-5131
桐生糸商組合	川村 隆	桐生市仲町3-15-6 川村(株)内	44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	岩崎 朝嗣	桐生市永楽町6-6	22-7919
東日本編レース工業組合	中野 隆雄	桐生市永楽町6-6	22-3847
桐生意匠組合	増田 正明	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生紋紙組合	高松 靖郎	桐生市宮前町1-6-60 (有)高松紋切所内	22-4380
東毛ジャカード刺繍協同組合	西村 千春	桐生市新宿3-7-34	43-1166
桐生織物商友会	和田 貞之	桐生市川内町1-98-5 (株)ワダミツ内	65-6188
桐生テキスタイル商業グループ	篠田 一	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生織伝統工芸士会	江原 毅	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
有限責任事業組合 起龍	丸山 裕	みどり市笠懸町阿左美1118 (株)大桐内	32-5573

事務局 財団法人桐生地域地場産業振興センター内

〒376-0024 桐生市織姫町2-5

電話 (0277) 46-1011

FAX (0277) 40-1300